

令和3年度
(2021年度)

事業計画書



学校法人巨樹の会

目 次

1. 学校法人の概要	1 ~ 2
2. 基本方針	3
3. 教育方針	4
4. 教育計画	5 ~ 6
5. 設置する学校・学科等	7
6. 各校の事業計画	8
令和健康科学大学(仮称) 設置認可申請中	9 ~ 10
福岡看護専門学校	11
小倉リハビリテーション学院	12
下関看護リハビリテーション学校	13
八千代リハビリテーション学院	14
福岡和白リハビリテーション学院	15
福岡水巻看護助産学校	16
武雄看護リハビリテーション学校	17

1.学校法人の概要

基本理念

手には**技術**、頭には**知識**、患者様には**愛**を

創設者の蒲池眞澄は、「患者のために医療を行う」という強い思いで、昼夜を問わず救急医療に励んできました。その中で医師のパートナーである看護師の教育を行いたいという熱い思いから看護学校を設立しました。また、患者様の生命を救った後の、日常生活動作の回復を考え、リハビリテーションを重視し、理学療法士、作業療法士の育成のためリハビリテーション学院を開校しました。今では助産師教育を含む7つの専修学校で育成を行う学院に発展し、そういった創設者の思いが『建学の精神』の根底にあります。

建学の精神

創設者の信念である「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」を基本理念とし、医療のスペシャリストになりたいという学生の夢の実現のために「人間愛・自己実現」を教育理念として掲げ、人間性豊かで、社会に貢献できる実践能力を身につけた医療の専門職業教育を目指しています。

教育理念

人間愛・自己実現

学校法人巨樹の会の教育理念は「人間愛と自己実現」という人間の根本精神をあげ、一人ひとりの学生が人間愛の精神に基づき、対象を深く理解し、受け入れ、専門的な知識、技術、態度を身につけることができるような人材育成を目指しています。さらに、医療看護分野の専門性の追求のみならず、一生を通じて人格向上の努力を続け、自己実現していけるような人を育てています。

教育にかける情熱

学校法人巨樹の会は、創設者である蒲池真澄の「医師のパートナーである看護師の教育を行いたい」という熱い思いから始まりました。さらに、本法人は急速な少子高齢者社会の進展や疾病構造の変化により、在宅分野や予防分野など、リハビリテーションの需要がさらに増大してくる事を鑑み、その中核を担うセラピストの育成にも力を入れています。

知識は、学習の習慣と方法を修得できれば身につけることができます。しかし、医療従事者になりたいという思いは、他者から指導されて身につくものではありません。本当に医療従事者になりたいという思いをもった受験生にきてほしい、これが本法人の創設者の願いです。

本法人では、「人間愛と自己実現」という教育理念のもとで、基礎教育3年間、卒業してからの臨床教育3年間という「**6年間一貫教育**」をもって、患者様のために実践できる能力を身につけ、社会に貢献できる有能な人材の教育を行っています。

現在、本法人の専門学校7校の卒業生は約13,000人となり、看護師・助産師・理学療法士・作業療法士として、全国の医療の第一線で活躍しています。

〔 沿革 〕

平成 2年 4月	学校法人 福岡保健学院 福岡看護専門学校(3年課程)開校
平成 4年 4月	福岡看護専門学校2年課程(夜間定時制)開設
平成16年 4月	小倉リハビリテーション学院(理学療法学科・作業療法学科)開校 下関リハビリテーション学院(理学療法学科・作業療法学科)開校 八千代リハビリテーション学院(理学療法学科・作業療法学科)開校 福岡看護専門学校2年課程(通信制)開設
平成19年 4月	福岡和白リハビリテーション学院(理学療法学科・作業療法学科)開校
平成20年 4月	福岡看護専門学校水巻校(3年課程)開校
平成22年 4月	下関リハビリテーション学院に看護学科を開設 名称変更:下関看護リハビリテーション学校へ
平成22年 9月	みずまき助産院ひだまりの家を開院
平成23年 4月	武雄看護リハビリテーション学校(看護学科・理学療法学科)開校 福岡看護専門学校水巻校に助産学科を開設 名称変更:福岡水巻看護助産学校へ
令和 2年 4月	学校法人名を「学校法人巨樹の会」へ変更
令和 2年10月	令和健康科学大学(仮称) 設置認可申請

2. 基本方針

令和3年度 学校法人巨樹の会 基本方針

I. 大学設置法人へ組織変更することによる学校法人のガバナンス機能の強化

1. 内部統制システムの再構築と運用の実施
2. 中長期計画の策定実施（令和4年度以降の計画を令和3年度中に作成）
3. 令和健康科学大学開学に向けた取り組み

II. 継続事業

1. 創造力・実践力の向上を目指した教育の推進
2. 学生満足度向上に向けた取り組み
3. ICT環境の運用
4. 退学者抑制の取り組み（進級率・卒業率90%以上の実現）
5. 国家試験合格率100%実現に向けた取り組み
6. 定員充足への取り組み
7. 地域連携の充実にむけた社会貢献の推進
8. 業務効率化の促進

III. その他

1. 働きやすい職場環境づくりの取り組み
 - 1)メンタルヘルスケア体制を充実させ、教職員に対する心のケアの充実及び健康管理を推進。
 - 2)ハラスメントを防止し快適な職場づくりを実現。
2. 学校法人30周年記念誌編纂委員会設置と運営（2021年刊行予定）
（大学化を前に専門学校としての歴史を集大成し、伝統を明確する）

3. 教育方針

令和3年度 学校法人巨樹の会 教育方針

1. 根拠ある実践力を身につけた医療従事者の養成を行う

1) 6年間一貫教育*1の徹底

(1) 実践能力強化に向けての教育体制作り

実践力強化のためのシミュレーション教育への取組み

PBL、OSEC等の主体的で対話的な深い学びができる教育方法の工夫

(2) 一人ひとりを大切にした教育体制(90%以上の進級・卒業率を目指す)

学生満足度の向上

(3) 専門職連携を踏まえた教育の強化

2) 国家試験資格取得にむけての確実な指導体制(100%合格を目指す)

3) 関連施設への就職(昨年度以上の就職率を目指す)

2. 次世代教育に向けて、実践力のある教員の教師力を育成する

1) 教育の効率、主体的学習意欲を高めるICT機器の活用ができるための研修の実施

2) 専任教員への養成と質向上への取組み

専任教員養成講習会(NS)・養成施設教員等講習会(PT・OT)への参加促進

専任教員(NS)の継続研修参加促進

3) 学内の研修制度の充実

中央研修への参加促進

学会、研修会参加の促進

4) キャリア向上のための修士・博士課程の大学院進学への推進

3. (仮称)令和健康科学大学の認可実現と令和4年4月開学準備を目指す

大学準備室として6月補正申請を行い、翌年8月認可を目指す

令和4年4月、大学開学準備を行う

4. 福岡看護専門学校、福岡和白リハビリテーション学院2校の閉校に伴う申請と同時に、学生教育の支援のために教職員対応の充実を図る

専門学校の在校生の教育を教職員全員で支援する

閉校までの準備を滞りなく行う

4. 教育計画

I. 教育の強化

1. 自ら状況判断できる看護師、助産師、理学療法士、作業療法士を育成するために、「主体的に学ぶ」という姿勢を育む教育を実践する。

- 1)知識注入型の教育ではなく、思考する教育方法を取り入れた講義、演習、実習に取り組んでいく。
- 2)様々な学生指導において、指示待ちではなく自分で考えさせる指導方法を実践する。
- 3)学生のやりたいという思い(モチベーション)を大切にした教育を工夫する。
- 4)自分にも出来るというような達成感を感じられる教育方法、学生を認める関わりを実践する。

2. ICT教育を全面的に取り入れた授業運営を通して、カリキュラム評価を行い、カリキュラムを運営する。

- 1)ICT教育の徹底を図り、教育効果を高める教育方法の向上を目指し運営する。
- 2)カリキュラムの運営を通して、講義・演習・実習における評価を検討し、教育内容・方法・技術の強化を行い運営する。

II. 学生支援について

1. 学生支援体制を整える。

- 1)学生の主体性を尊重した教育的な関わりをもち、学生の支援体制をつくる。
- 2)教員自ら積極的に挨拶を行い、学生との関わりを機会をふやし自ら学生のモデルとなる。
- 3)学校カウンセラー・健康担当医と連携して、学生の学業継続を支援する。
- 4)教科外活動、課外活動などを通して、学生間の交流を図る。
- 5)早めの就職指導を行い、卒業生の就職率を高める。
- 6)卒後3年間の臨床経験を通して実践力を身につけることができる卒後教育が充実した病院への就職を斡旋する。

III. 国家試験対策の強化

1. 国家試験全員合格に向けての対策の強化を図る。

- 1)昨年度の国家試験対策の評価を行いながら、国家試験対策の強化を図り、全員合格を目指す。
- 2)各学年の学生の傾向を分析しながら、教育方法を工夫し、学生の基礎学力の向上を図る。

IV. 入学生確保について

1. 入学生の確保を強化する。

- 1) 広報委員会を中心とした計画的運営により、広報活動を積極的に行う。
ホームページ、ブログ、リスティング等、WEB上の広報活動の充実を図る。
パンフレット、配布資料、広告、募集活動の工夫を行う。
- 2) 各科の特徴を生かした募集活動を、WEBを含めて戦略的に行う。
看護学科: 指定校推薦校の見直し、募集活動の早期化、範囲拡大(地域、大学など)
進路指導教員へのアプローチ、入試の定着、募集活動の範囲・学校訪問
数の拡大、複数回の訪問
助産学科: 卒業生、在校生勤務地を活用した募集活動
全国区への募集、関連施設(関東含めて)へのアプローチ
PT・OT: 奨学金制度の充実、進路指導院へのアプローチ、複数回の学校訪問、
充実したオープンキャンパスの開催

V. 管理体制の強化

1. 「職業実践専門課程」の継続的な認定を目指す。

- 1) 企業等との連携を図り、「教育課程編成委員会」を参考にカリキュラムの改善を行う。
- 2) 「学校関係者評価」を実施し、教育における教育内容・教育方法を充実する。
 - (1) 授業・演習・実習指導等についての授業評価を計画・実施して、自己の指導の指針とする。
 - (2) 学校関係者評価の結果について外部公表を行い、各校改善を行う。

2. 専任教員キャリア別達成目標を活用し、教員の質の向上に努める。

- 1) 教職員の適正人数の配置を行う。
(人員配置、実習指導教員の強化、図書司書の配置)
- (1) キャリア別に目標設定することで、教員自身の本校での位置づけを明確にし、主体的に判断・行動できる。
- (2) 教員をサポートする研修体制の充実を図る。
 - ① 関連学校における中央研修への積極的な参加
 - ② 各専門領域での専門性を向上するための研修の支援体制の整備

3. 円滑な学校運営を行う。

- 1) ワークライフバランスを考慮した業務内容の見直し、業務改善を行う。
 - (1) 学科ごとに業務内容のマニュアル化を進めていく。
 - (2) 会議運営について、組織的・効果的な実施を図る。
 - (3) 業務改善を行い、残業時間を短縮する。
- 2) 情報機器の活用により、業務の効率化、情報の共有化を図るとともに、情報セキュリティ対策を強化する。
- 3) 学事システムの導入後の実施・評価・修正に取り組む。
学籍システム導入後の学籍簿整理・規程作成を進めていく。

5. 設置する学校・学科等

専修学校

学校名	開校年月	学 科		修業年限	入学定員	総定員数
福岡看護専門学校	平成2年4月	看護学科	3年課程 全日制	3年	50名	150名
		看護学科	2年課程 夜間定時制	3年	50名	100名
		※令和3年度学生募集中止				
小倉リハビリテーション学院	平成16年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		理学療法学科	夜間コース	4年	40名	160名
		作業療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
下関看護リハビリテーション学校	平成16年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		看護学科	3年課程 全日制	3年	40名	120名
八千代リハビリテーション学院	平成16年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		理学療法学科	夜間コース	4年	40名	160名
		作業療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
福岡和白リハビリテーション学院	平成19年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	80名	240名
		理学療法学科	夜間コース	4年	40名	120名
		※令和3年度学生募集中止				
福岡水巻看護助産学校	平成20年4月	看護学科	3年課程 全日制	3年	80名	240名
		助産学科	1年課程 全日制	1年	25名	25名
武雄看護リハビリテーション学校	平成23年4月	理学療法学科	昼間コース	3年	40名	120名
		看護学科	3年課程 全日制	3年	40名	120名

助産院

施設名	開設年月	部屋数	備 考
みずまき助産院 ひだまりの家	平成22年9月	6床	・H22.9～H23.3まで出張助産にて運営

6. 各校の事業計画書

近年における少子化等の影響もあり、私立学校をめぐる環境は厳しさを増している。
学校法人巨樹の会の各校では、地域に必要とされる学校であり続け、新しい時代の要請に応じた学校づくりを目指し、各校にて事業計画を策定した。

- ・ 令和健康科学大学(仮称) <令和4年4月開学予定 設置認可申請中>
- ・ 福岡看護専門学校
- ・ 小倉リハビリテーション学院
- ・ 下関看護リハビリテーション学校
- ・ 八千代リハビリテーション学院
- ・ 福岡和白リハビリテーション学院
- ・ 福岡水巻看護助産学校
- ・ 武雄看護リハビリテーション学校



大学の設置認可を得るとともに、
医療専門職業人の志を持った学生を獲得し、
令和4年4月、開学する

1. 令和3年8月設置認可にむけた取り組み

- 1) 「大学設置分科会」補正申請に着実に取り組む
- 2) 「学校法人分科会」補正申請に着実に取り組む

2. 開学に向けた学生募集と入学者確保

- 1) 入試広報活動、学生募集活動を戦略的に行い、医療専門職業人の志を持った学生を獲得する

【看護学部】

看護学科 入学定員 80名

【リハビリテーション学部】

理学療法学科 入学定員 80名

作業療法学科 入学定員 60名

3. 令和健康科学大学のブランディング

- 1) 大学認知度の向上のための広報活動を行う

4. 大学組織の確立と円滑な大学運営の準備

- 1) 学長のリーダーシップによる構成員のコンセンサス醸成に取り組む
- 2) 適切な事務組織を確立する

5. 開学に向けた準備

- 1) 設備、備品、情報システムの整備する
- 2) 諸規程等手続き面を整備する

令和健康科学大学(仮称) 設置認可申請概要

- I 大学名称 令和健康科学大学(Reiwa Health Sciences University)
- II 設置場所 福岡市東区和白丘二丁目1-12
- III 設置予定年月日 令和4年(2022年)4月1日
- IV 学部・学科・定員

学部	学科	入学定員	収容定員
看護学部	看護学科	80名	320名
リハビリテーション学部	理学療法学科	80名	320名
	作業療法学科	60名	240名
合計		220名	880名

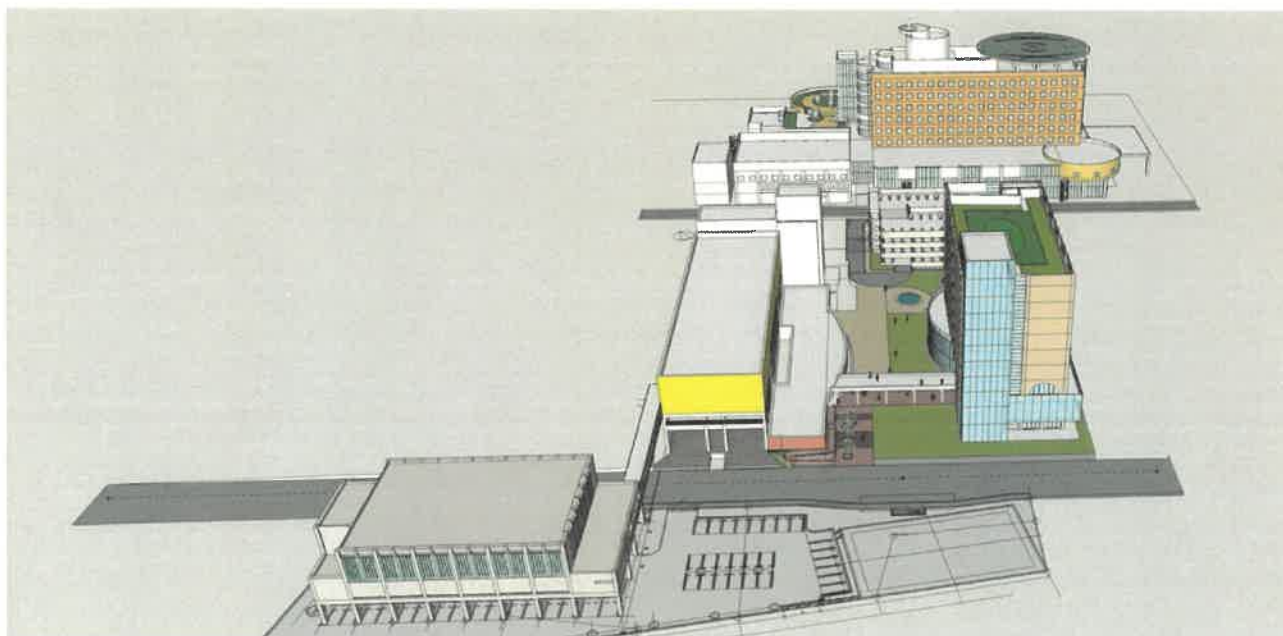
V 敷地面積

敷地名称	面積
(1) 校舎敷地	8076.50 m ²
(2) 講堂兼体育館	2930.53 m ²
(3) 運動場(フットサルコート)	653.38 m ²
(4) 駐車場	707.39 m ²
合計	12367.80 m ²

VI 建物の構造・延床面積

	大学新棟(2号館)	既存棟(1号館)	講堂兼体育館
構造	鉄骨造10階建て	鉄骨造6階建て	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建て
延床面積(m ²)	11022.90 m ²	8577.99 m ²	1330.18 m ²
延床面積(坪)	3340.27 坪	2599.39 坪	403.08 坪

VII 鳥瞰図





学習者一人ひとりに目を向けた教育の推進
～豊かな人間性、責任感のある看護専門職の育成を目指して～

1. 実践力の向上

教育機材の充実を図り、社会に貢献できる実践能力を身につけた有能な人材の教育を行う。

- 1) 臨床判断能力の育成
- 2) シミュレーター(シナリオ・フィジコ等)の活用、教育方法の工夫
- 3) 技術教育の強化とあり方の検討
- 4) 教育力向上に向けた教員研修の積極的な受講

2. 学生満足度向上の実現

- 1) 学生満足度の向上のための環境調整
- 2) 自ら学び探求していく教育方法の工夫

3. ICTを活用した教育の推進

- 1) オンラインによる授業・実習指導の実施
- 2) ICTに関する教職員への研修の実施
- 3) 効果的なWi-Fiの活用

4. 各学年の履修率・卒業率向上のための取り組みの実施

- 1) 国家試験合格率100%実現に向けての各学年の取り組み強化
- 2) 主体的学習の支援、学習方法の確立、効果的なグループ活動
- 3) 臨地実習での学びの実感とタイムリーな指導
- 4) 確実な単位修得への支援
- 5) 実習指導担当教員の充実
- 6) カウンセリングの効果的な活用、学生個々とのかわり

5. 社会貢献活動及び地域連携の充実

- 1) 福岡和白病院との共同活動(健康フェスタ・職場体験等)
- 2) 地域清掃活動

6. 効果的な広報活動の展開

- 1) ホームページ等を活用して本校の活動を情報提供

7. 経費削減

- 1) 前年度も実施した経費の見直しを継続して実施

8. 業務効率化の推進

- 1) 業務分担を再考し、ワークライフバランスを改善
- 2) 役割別マニュアルの見直し
- 3) 実習時間の検討・調整

9. 職員力の向上

- 1) 個人目標の設定と評価
- 2) 各科の特徴に合わせた教育目標の設定と評価
- 3) コミュニケーション能力とリサーチ力を駆使した組織づくり



共に進む信頼される学校作り

1. 教育理念・教育目標に基づき学生指導によるガバナンス機能の強化

- 1) 学習支援体制の充実
- 2) 思考力、判断力、コミュニケーション能力の向上
- 3) 学修継続、学習困難の支援体制の充実

2. 生活支援の体制の充実

- 1) 基本的生活習慣の充実
- 2) 学生の心理サポート
- 3) 学生・保護者・学院の情報共有と連携

3. 進路支援体制の充実

- 1) 国家試験合格率の向上
- 2) 就職率の向上
- 3) 退学率の低減

4. 教職員の資質能力向上

- 1) 授業内容、学生指導方法の研修とその後の工夫・改善、充実に向けた取り組み
- 2) 高水準の国家試験、就職率の維持向上するための意識向上
- 3) 人権意識の高揚

5. 新入生入学に対する広報活動

- 1) 高校訪問・ガイダンス・オープンキャンパスを中心とした情報提供
- 2) ホームページ・学校案内の充実と改善
- 3) 社会人を対象とした外務実施
- 4) 経済的理由により進学に悩む入学対象者への支援

6. 業務効率化の促進

- 1) ICTシステムの導入により業務効率化の推進
- 2) 教務室内環境の整備

7. 地域社会貢献

- 1) ボランティア活動の促進
- 2) 地域の中学・高校との交流と部活動支援

信頼され、選ばれる学校
学生の学力強化とICT教育、多職種連携教育(IPE)の強化
～ ひとりひとりを大切にしながら ～

- 1. 創造力・実践力の向上を目指した教育の推進**
 - 1) 両学科協力IPEの充実
 - 2) シミュレーション教育の充実
- 2. 学生満足度向上に向けた取り組み**
 - 1) 教員の教育力向上
 - 2) 教育教材の充実
 - 3) 進路(就職)支援の強化(理学療法学科)
 - 4) 感染予防対策の充実
 - 5) 学校および学生寮の施設・設備の改善
- 3. ICT環境の運用**
 - 1) ICT環境・設備の改善
 - 2) ICT教育力の向上
- 4. 退学者抑制の取組み(進級率・卒業率90%以上の実現)**
 - 1) 学生の情報共有と問題の確認と問題に応じた早期対応
 - 2) カウンセリングの活用とカウンセラーとの連携
 - 3) 保護者との連携
 - 4) 学習支援強化
 - 5) 自ら目指す職種に喜びと誇りをもつ学習内容と学校生活
- 5. 国家試験合格率100%実現に向けた取組み**
 - 1) 学年に応じた学習指導
 - 2) 教員の指導力強化
 - 3) 自己学習力の強化
- 6. 定員充足の取組み**
 - 1) インターネット、SNS等による情報発信の強化
 - 2) 高校・大学訪問の強化、ガイダンスへの積極的参加
 - 3) 高専連携の強化(部活支援活動、キャリア教育協力)
- 7. 地域連携の充実に向けた社会貢献の推進**
 - 1) 地域ボランティア活動参加への促しと表彰
 - 2) 各学年清掃活動の継続
- 8. 業務効率化の促進**
 - 1) 業務効率改善に向けた職員の意識の改善
 - 2) 学内業務の見直しと適切な業務分担
 - 3) 効率化に伴う設備の充実

～新しい生活様式の中での教育環境の整備と職業実践教育の推進～

教育教材の拡充を図り、環境を整備し、良好な教育体制を構築する。

職業実践専門課程認定の更新、学生満足度の向上を図る。

1. 教育機材の購入

- 1) 不備品買替え
- 2) 入学者増に伴う追加補充

2. 管理備品購入

- 1) 教室の学生用机買替え
- 2) 入学者増に伴う追加補充

3. 環境の改善

- 1) 感染症拡大防止対策としての環境整備
- 2) 手指消毒・手洗い・マスクの徹底
- 3) 学生寮不備品の買替え
- 4) 教職員ユニフォームの整備

4. 学外学習機会の確保、整備

- 1) 学外学習施設とのオンライン体制など連携強化
- 2) 感染対策徹底でのボランティア活動検討
- 3) 実習施設登録拡充

5. ICTを活用した教育の推進

- 1) タブレットを効果的に活用した授業・遠隔授業の実施
- 2) 学内パソコン、ネットワークシステムの整備

6. 効果的な広報活動の展開

- 1) R4年度入学生へのタブレット贈呈、ICT教育・遠隔授業に対応
- 2) ホームページ、学院パンフレットの充実
- 3) 動画も活用したWEBやオンラインの活用

環境整備の推進

1. 新規事業

1) 学内改修

- (1)更衣室
- (2)2階男子・女子トイレ
- (3)職員エリア
- (4)玄関大階段
- (5)外壁塗り替え

2) 大学設置法人へ組織変更することによる学校法人のガバナンス機能の強化

- (1)内部統制システムの再構築と運用の実施
- (2)中期計画の策定実施
- (3)令和健康科学大学開学に向けた取り組み

2. 継続事業

1) ICTを活用した教育の充実

- (1)新入生全員にiPad支給
- (2)ICT活用方法の研修会開催

2) 退学防止委員会

- (1)両学科進級率100%達成させる
- (2)退学予防のための学生支援方法の検討と確立
- (3)高い進級率とその取り組みを体系化することで、広報的な効果を上げる



学校法人巨樹の会

福岡水巻看護助産学校

社会に貢献できる人材育成 ～学習環境および職場環境の充実～

1. 創造力・実践力の向上を目指した教育の推進
 - 1) アクティブラーニングの推進
 - 2) シミュレーション教育の充実
 - 3) 看護教員の教育実践力向上
2. 学生満足度向上に向けた取り組み
 - 1) 学習環境の整備
 - 2) 教育教材の充実
 - 3) 学内環境（感染防止対策等）の整備
 - 4) 学生との援助的関係の確立
3. ICT環境の運用
 - 1) 共同学習としてのICT教育の推進
 - 2) ICT教育力の向上
4. 進級率・卒業率向上への取り組み
 - 1) 職業的アイデンティティの確立
 - 2) 保護者と職員との関係性の向上
 - 3) 各学年、年1回以上の保護者会の実施（オンラインを活用）
5. 国家試験合格率100%に向けた取り組み
 - 1) 1年次からの積み上げとなるカリキュラムの構築
 - 2) 修学指導への取り組みの強化
6. 定員充足への取り組み
 - 1) 学生募集、広報活動の強化
 - 2) 社会の状況にあわせた、オンラインによる学校説明会の実施
7. 地域連携の充実に向けた社会貢献の推進
 - 1) 地域清掃（通学路の清掃等）の継続
 - 2) 福岡新水巻病院主催の健康まつりへの参加継続
 - 3) 地域（水巻町）主催のイベントへの参加
8. 業務効率化の促進
 - 1) 職場環境の改善
 - 2) 業務内容に応じた勤務形態の多様化
9. 就職支援・キャリア支援
 - 1) 就職先選択の考え方や将来ビジョンを考えるための体制作り
 - 2) 関連病院就職率70%以上



全校一丸となりブランド化を図り、魅力ある信頼される学校創りに邁進する

1. 医療人としての人間性・人間力の育成

- 1) コロナ禍での生活習慣の確立と学習活動の在り方とICT教育の推進
- 2) 学生の自主的な取組みとコミュニケーション能力の育成

2. 進路保障100%達成

- 1) 履歴書の添削と面接指導の充実
- 2) 関連病院への就職と訪問見学・就職説明会の実施

3. 国家試験全員合格

- 1) 学習指導体制の構築と学習習慣の確立
- 2) 教員の指導力を高めるための研修会実施

4. 退学・休学者をなくす

- 1) 定着率100%達成のために、担任、副担任の連携と個別面接・カウンセリングの実施
- 2) 学年保護者会の実施と家庭との連携強化

5. 魅力ある指導実践 (ICT活用等)

- 1) 両学科のeラーニング活用とICT環境の整備に伴う教職員の効果的な使用方法
- 2) 学生のタブレット授業に伴うプロジェクターの入替え
- 3) 図書の本の購入と演習の充実を図るための教材購入

6. 地域、行政と連携したボランティア活動

- 1) 特別支援学校や病院行事とスポーツ活動や老人クラブへの参加での地域貢献

7. 高校との信頼構築で定数確保

- 1) 学校単独のガイダンスの開催と高校部活動への援助と支援や在校生からの近況報告
- 2) 高専連携・地域密着型の広報活動の充実

8. 教育費等の削減と業務の効率化

- 1) 看護学科の近隣実習施設の確保
- 2) 教育機材や補助教材の適切な購入
- 3) 消耗品や光熱水費の節約への取組み

9. 教職員の資質向上

- 1) 教育方針の実現のために各種研修会、講習会の実施と受講への積極的取組み
- 2) 専任教員による効率的な担当授業数の見直し

10. 学生の住居(アパート)の確保と交通手段

- 1) 通学困難者の増大に伴い、学生寮(男子・女子)確保の実現と駐車場の整備

11. 新型コロナウイルス感染防止の徹底

- 1) 体温・体調・行動履歴の健康チェックと手指消毒・使用机等の消毒と室内の換気のための整備

12) 開校10周年に向けての準備作業(整備)

- 1) 2021年の式典準備作業の計画と資料収集と実施内容の検討